

## 第1回 MTDLP 拡大連絡会議 質疑応答

### 1：質疑応答（会議内）

#### ■ Web 研修について

○MTDLP 基礎研修は Web 開催可能と認識して良いということでしょうか？

- 教育部の通知文をご参照ください（双方向性を担保する、受講確認などの留意事項）。
- 演習部分については、マニュアルの提示をさせていただく。

○Web での研修開催にむけた支援を協会でお願したい。

○ZOOM の使用を行うにはライセンスの契約等が必要となると思うが、士会負担となるか。

- 臨床実習指導者研修も厚生労働省が Web 開催を認め、トライアルも成功している。
- 教育部では e ラーニングや Web 研修のマニュアルを整理しているところである。
- また、各都道府県には Web 環境の整備を目的とした支援金を送金している。ご活用いただきたい。

○実践者研修（事例検討会）の Web 開催運用マニュアルの作成も検討いただけると幸いです。

- 作成し、提示する。

○MTDLP は修了証が発行されるということで、資格取得の要素があります。出席確認、講義状況の確認方法等の配慮するポイントを教えてほしい。

- ルールとして示すことは難しいかもしれないが、講師側が適時参加者の反応を見る機能の活用をお願いしたい。
- また、Web 受講要件の中に、アンケートまたは確認問題が必要となる。その案も提示するためご参照いただきたい。

○基礎研修の演習の際、同一会場内（web を含め）で、身障事例と精神科事例を同時に演習しても大丈夫か。

- 基本的に、講師陣が対応できるのであれば問題ない。
- その際、演習のスライドの工夫と各グループには 1 人のファシリテーターが必須であると考えられる。

○演習で受講者にシート記載して頂きが、主催者での確認や他受講者と共有するツールで適するものがあればご紹介頂きたいです。

- Google ドライブを活用したグループワーク方法などの活用報告がある。
- 室でも、情報収集して情報の共有に努めたい。

#### ■ 推進シート

○研修参加の領域や履修状況を把握することは県士会で数値を把握することが難しいように感じました。

- 領域や地域ブロックごとの履修状況を把握することは大変な作業であると認識している。会員情報のデータベースを構築するといった各士会が組織的に作業を行うことが必要である。このため、現時点では領域やブロック別のデータ入力には必須ではなく、把握可能な範囲での入力をお願いする。
- MTDLP 担当者レベルで取り組める作業としては、今後の研修からは、申込の際に氏名、会員番号、所属機関に加えて領域や地区ブロックなどの情報も把握するようには如何か。

○協会のデータや生涯教育のデータを活用していただき、逆に県士会に情報提供いただけると有り難いです。

→MTDLP 基礎研修、実践者研修（MTDLP）は士会が開催しますが、修了者の登録は協会に報告することで、履修者には協会から修了証が発行される。このため、協会に提出した情報を士会事務局においても管理をお願いしたい。

なお、指導者については会員個人が協会の事例報告登録を行うため、指導者となった場合は士会に報告していただくように周知することが必要。また、協会 HP のポータルサイトから条件検索をすることで所属施設を照会することは可能である。

○推進シートについて：有効だった推進ポイントおよび改善すべき推進ポイントを記載して提出していましたが、資料にアップされていなかったのは、こちらの何かに不手際があったのでしょうか。

→取りまとめた一覧表から会議の当日資料にデータを転記する際の不手際であった。

※大変失礼をいたしました。会議後に配布する資料に改めて記載いたしました。

## ■事務局へ

○基礎研修会の開催についてですが、他団体の緩和ケア研修会では2日研修のうち1日分はeラーニングです。履修できたかのチェックが難しいかと思いますが講義形式分は最後に質問に答えてもらうなど工夫して Web 開催時間を短くするなど工夫できますか。すぐにシステムを作るのは難しいとは思いますが検討していただけると助かります。

→分割開催は可能であるが、双方の web 開催いわゆるオンライン研修のみを認めている。引き続き教育部とも連携し、eラーニングのコンテンツを検討する。

○協会の事例登録制度で MTDLP 実践者研修を修了した会員情報を共有させて頂くことは難しいか。

→会員ポータルサイトがリニューアルしている、その中に MTDLP 指導者・研修修了者の在籍施設を検索できる。また、協会員＝士会員が実現できれば、推進シートでの課題等も解決できる可能性はあると考えている。

○3 密にならない工夫ができれば、会場に集まったの研修会も開催していくことは今後可能なのでしょうか？

→基本事項として、不要不急の会議等を避け、できる限り web の会議の開催をお願いした。JAOT ホームページでは、「協会主催の研修会は、上半期はやむなく中止もしくは延期、下半期については Web システムなどの活用により研修会を開催していきたい。」としている。開催ができないとは示していない。人を集めての研修会等は国の指針（ソーシャルディスタンス）に沿いながら、各士会の実情に合わせてご検討をお願いする。

## 2 質問（事後）

### 意見

○時代に応じて手段も変化させ適応が必要だと思うので、オンラインのデメリットや課題を確認、共有しながらもオンラインでの学びの機会を増やしていけるといいかと思います。その際に、県士会の力量による格差を少しでも是正できるような仕組みづくりを、協会にはよろしく願います。

○直接やり意見の取りできないのも残念でした。

○今後の拡大連絡会議の日程の年間計画があるようでしたら、教えていただけると有り難いです

○「なんのためにやっているのか」が非常に重要と感じました。様々な手法で啓発していきたいと思います。

○今年度、どうしたらよいか全くわからない状態でしたが、今回参加させて頂き、大変参考になりました。

○平日開催の会議が 18 時スタートですと、仕事終了時刻や WiFi 環境等の環境面から参加ができない。

○県士会でも試行錯誤していきたいと思います。

○コロナの影響で、あらゆることがストップしていましたが、皆さまの顔を拝見できて、力が湧きました。来月もよろしく願います。

○業務の関係上、平日夜は時間によっては初めからの参加が難しいと思います。できる限り参加させていただきたいと思いますが、時間の検討もしていただけるとありがたいです。

○（育休中）Web 会議の形であれば家を留守にしなくて済むので参加しやすかったです。

○ウェブ開催の日程について、子供らがお預けられるかの確認が事前に必要な為、8 月以降の日程についても、できるだけ早く教えて頂けると助かります。

※重複した内容は、抜粋しております。

#### その他

○ 今後の Web 開催で鹿児島県でのオンライン研修会開催についてもお聞きできればと思いました。

#### 回答が必要なところ

○参加費を安くという報告にもありましたが、今年度は、Web 開催になっても参加費は 1000 円でよろしかったでしょうか。すみません。

→士会の教育部（研修推進担当者）と確認のほどよろしく願います。

※基本的な運用方法・ルールは現職者共通研修と同様とする。

※受講料は従来通り、一律 4,000 円とする。

通知文には上記内容が記載されている。

ご不明な点は引き続き、事務局まで一報ください。